

氷舌 (ひょうぜつ)

マクマード基地
-77.842454,
166.686780



9月23日は秋分の日でした。家の周りの道端でも、報道番組でも何回か彼岸花をみました。季節は冬に向かうのだなと空も見上げました。

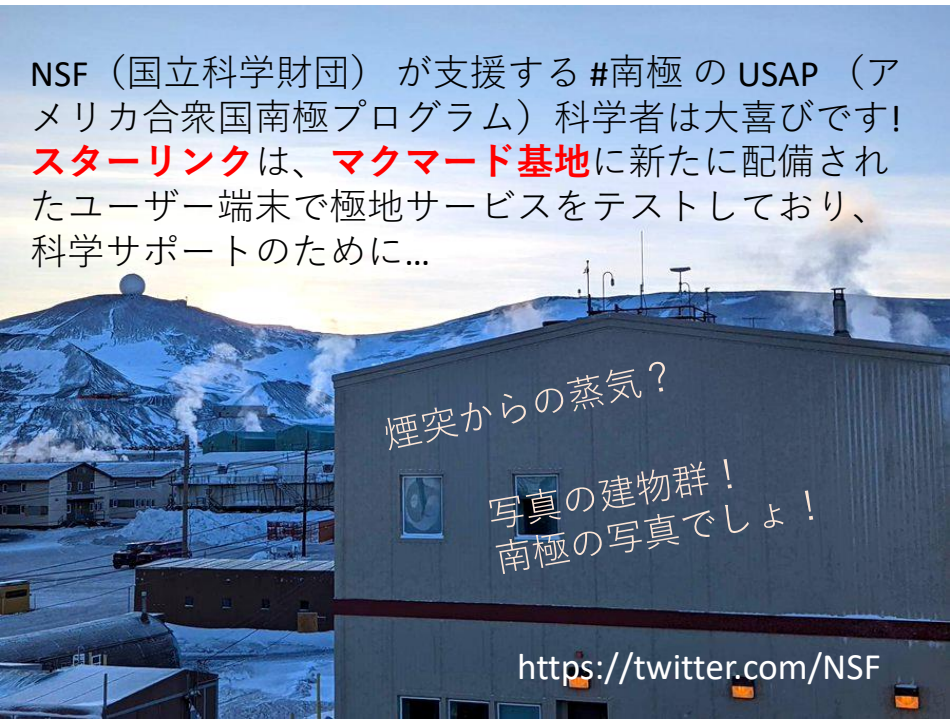
海面上昇にもかかわるといわれる「スウェイツ氷河」をYACかわら版で取り上げるために、2回南極を取上げています。氷河・棚氷・氷床・クラック・割目...を調べました。

- 288→「A-76氷河は今」
- 290→「ハレー基地」

「ハレー基地」の次は、南極大陸最大といわれるアメリカの「マクマード基地」を予定していました。基地の近くの氷舌 (ひょうぜつ) を紹介しようとしていました。その原稿の用意を始めていたところ、左のツイッターを見つけました。

おどろきました。

- ・あのスターリンク衛星群経由で高速インターネット！通信回線が一気に増える
- ・昭和基地や、ハレー基地の建物群を見慣れているなかで、写真を見ると、この基地の規模はどれくらいなのか。



ひまわりリアルタイムWeb

8:00の全球トゥルー画像

<https://himawari.asia/ja/himawari8-image.htm>

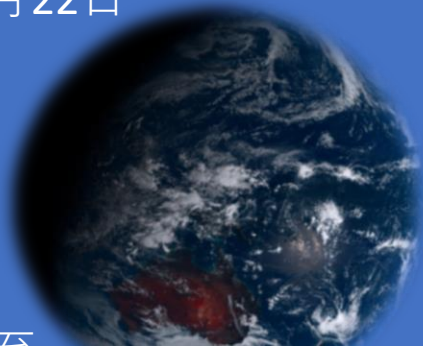
利用

12月22日

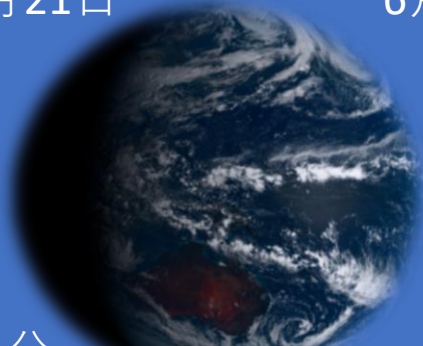
3月21日

6月21日

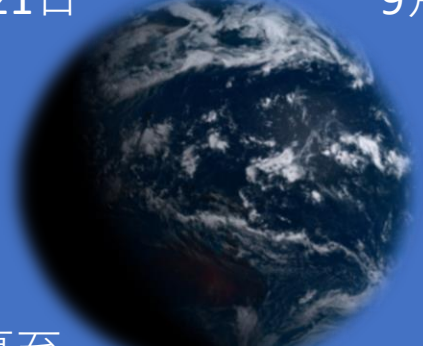
9月23日



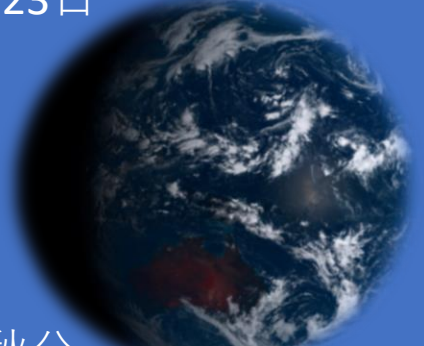
冬分



春分



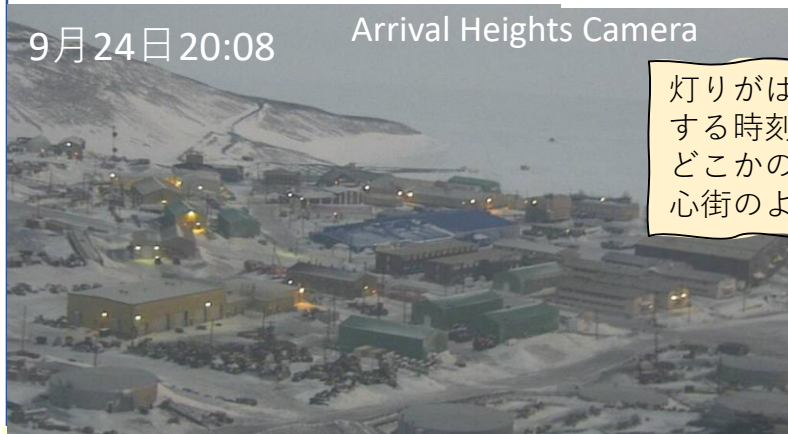
夏分



秋分

9月24日 20:08

Arrival Heights Camera



灯りがはっきりする時刻になり、どこかの街の中心街のようです

9月24日 17:40

Observation Hill



<https://www.usap.gov/videoclipsandmaps/mcmwebcam.cfm>

昭和基地

9月24日 8:59



<https://www.nipr.ac.jp/webcam-top.html>

昭和基地での活動・研究を一層応援したくなりますね

補給方法

空路



海路



マクマード基地は、1955年12月に建設された

ロス島のハットポイント半島に建設された南極大陸最大の科学研究施設

南半球の夏シーズンは1,200人以上生活

冬シーズンには約200人が越冬

研究関係施設の他に米国南極計画の物流の拠点

南極点にあるアムンゼン・スコット基地への補給中継...

海氷と棚氷の上に輸送機等の離着陸帯がある

小さな小屋から大きな3階建てまで約100ほどの建物がある

<https://www.nsf.gov/geo/opp/support/landstrp.jsp>



1957 1957



1977 1977



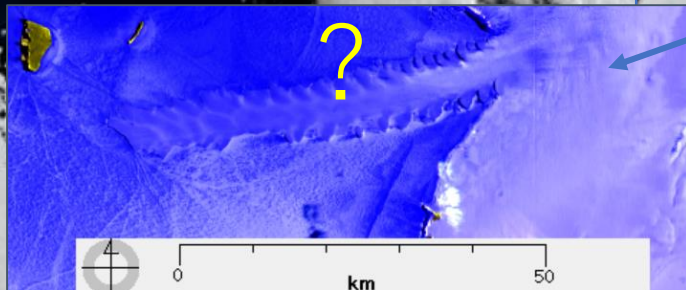
McMurdo Today

現在

https://www.usap.gov/news/documents/McMurdoMasterPlan_2.1.pdf

マクマード基地の北側に注目！

2022-01-07
センチネル2



フォルスカラーアーバン
RGBで、「？」をみる



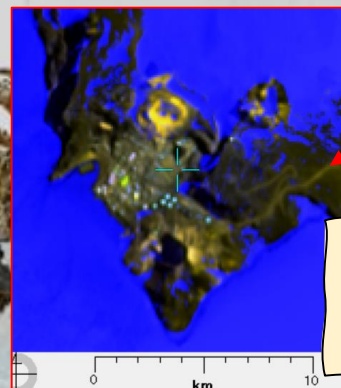
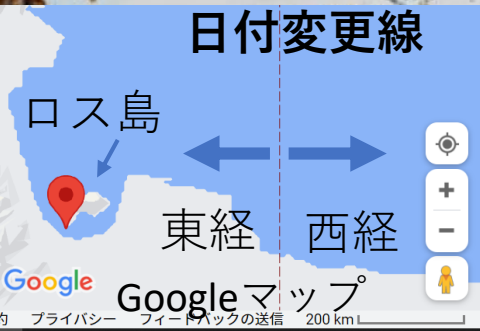
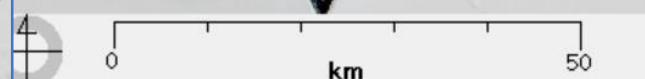
約18km

南緯77度
東経166.度

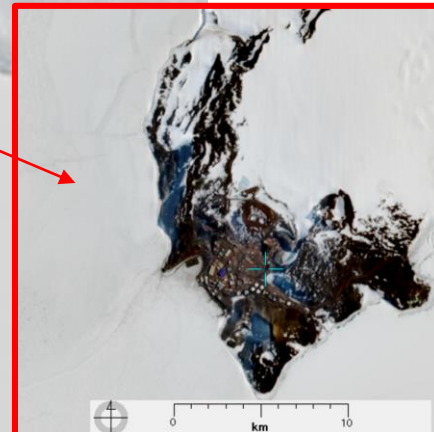
一般的に南極大陸の観測は、衛星によっては3月～11月の観測を休止している場合があります。

日本とマクマード基地との時差は、3時間です。日本が、3時間遅れています。

海水



フォルスカラーアーバン
RGBで、基地の周辺は氷雪であることを確認



「？」→氷舌

Erebus Ice Tongue

(アーバス アイスタン エレバス...)

氷舌 (ひょうぜつ) 口の中の舌 (した) のような形に見えるそうです。

アーバス氷舌・エレバス氷舌・同じもの



Share Save Erebus Ice Tongue Go Global Google Hybrid Help Contact Menu

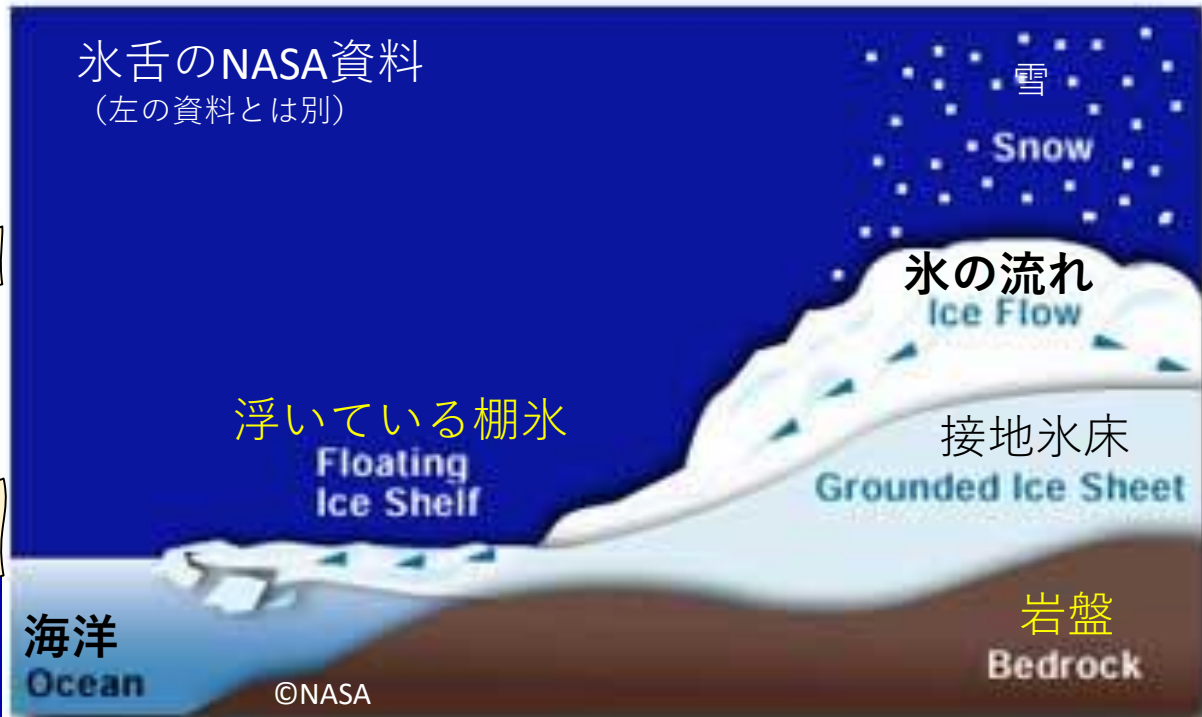
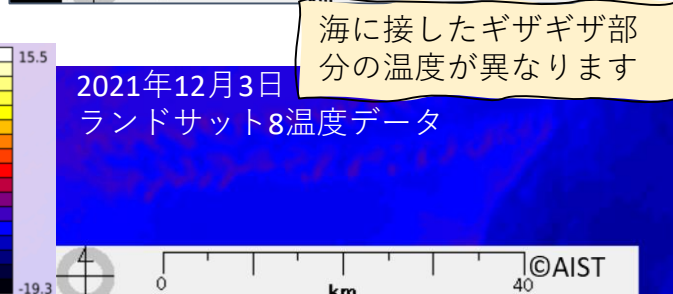
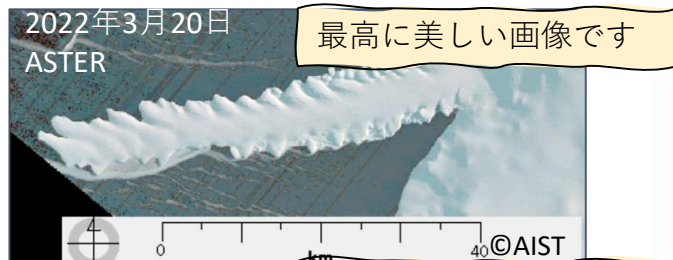
lon:167.0624 lat:-77.67816 zoom:10



下記のURLで産総研のランドブラウザーのデータが確認できます

https://gsrt.digiarc.aist.go.jp/landbrowser/?&id=ASTB001023202708&layer=default&lon=166.86719&lat=-77.7061&zoom=10&menu=on&cloud=50&night=off&bm=EPSG:3857&b=g&h&s=10&pi_PALSAR_it=G4U

2004年11月3日のNASAの資料「エレバス氷舌」は次のように説明しています。南極大陸のエレバス氷河はエレバス山から降りてきてロス島の沖合に突き出ており、長さ11~12 kmの氷の舌(海岸線から突き出た細長い氷のシート)を形成しています。エレバスの氷の舌は、北東から雪と氷のマクマード海峡に向かって画像中央に向かって伸びる、ギザギザの青い縁取りの「ナイフ」です。なめらかな白い広がりの下にはロス海があります。(意訳) <https://earthobservatory.nasa.gov/images/4965/erebus-ice-tongue>



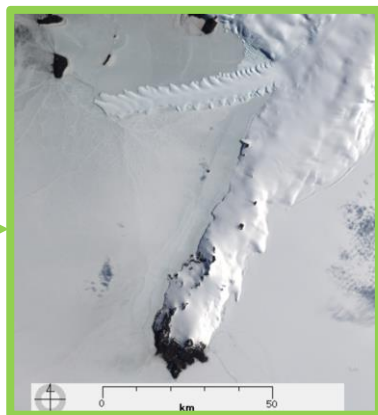
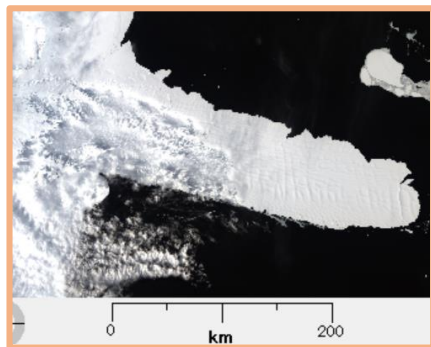
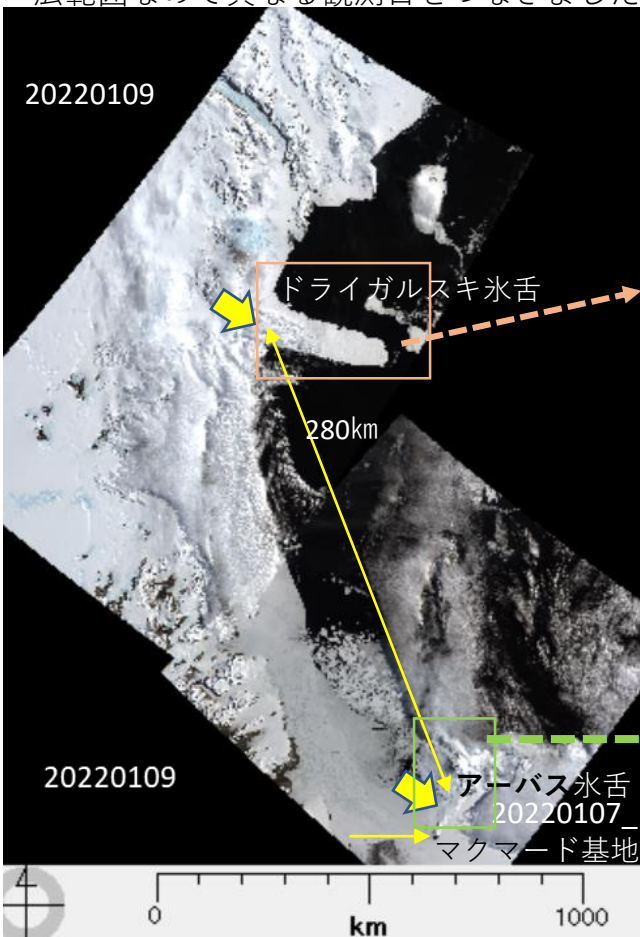
氷舌のNASA資料
(左の資料とは別)

<https://www.nasa.gov/centers/goddard/news/topstory/2003/0822icestream.html>

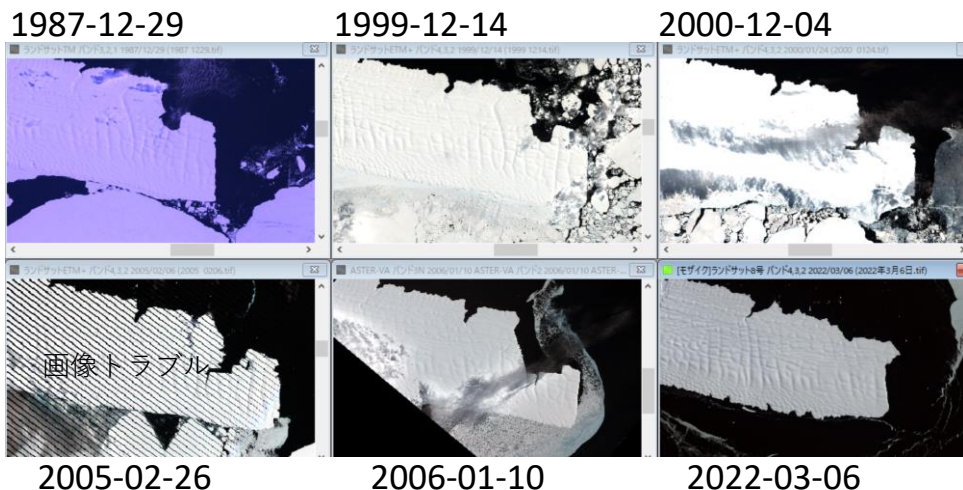
ドライガルスキ氷舌

エレバス氷舌から北北東280kmの、大きな氷舌です。棚氷から海にでた氷山がロス海にも多くあります。A-76氷山のように大きな氷山が、棚氷から海に出っ張っている氷舌に衝突することがおきます。氷山が小さくなり、溶けやすくなります。

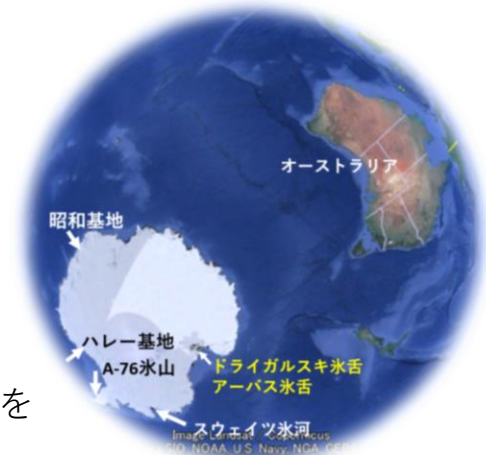
広範囲なので異なる観測日をつなぎました



氷舌の周りに着目、南から氷山や流氷が流れている



位置情報
-75.399956,
163.500086



2005年4月の衝突を
次ページで説明し
ます

ドライガルスキ氷舌とB-15A氷山の衝突

Drygalski Ice Tongue

「B-15Aが南極の氷舌に衝突」という解説があります。

https://www.esa.int/Applications/Observing_the_Earth/FutureEO/CryoSat/B-15A_collides_with_Antarctic_ice_tongue

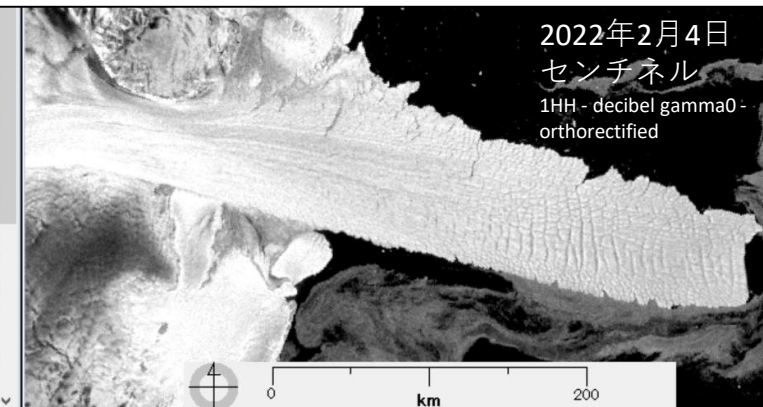
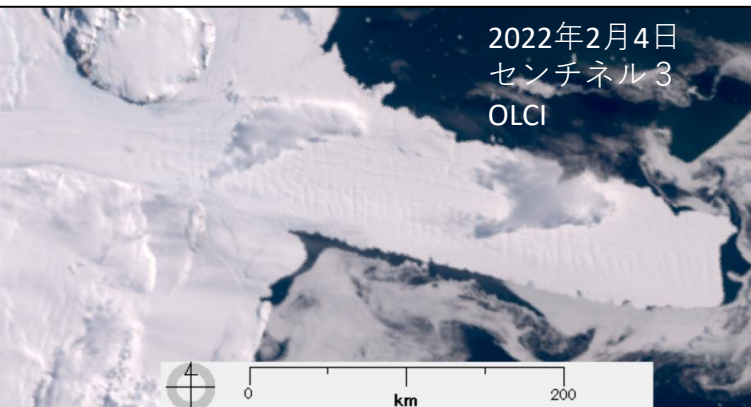
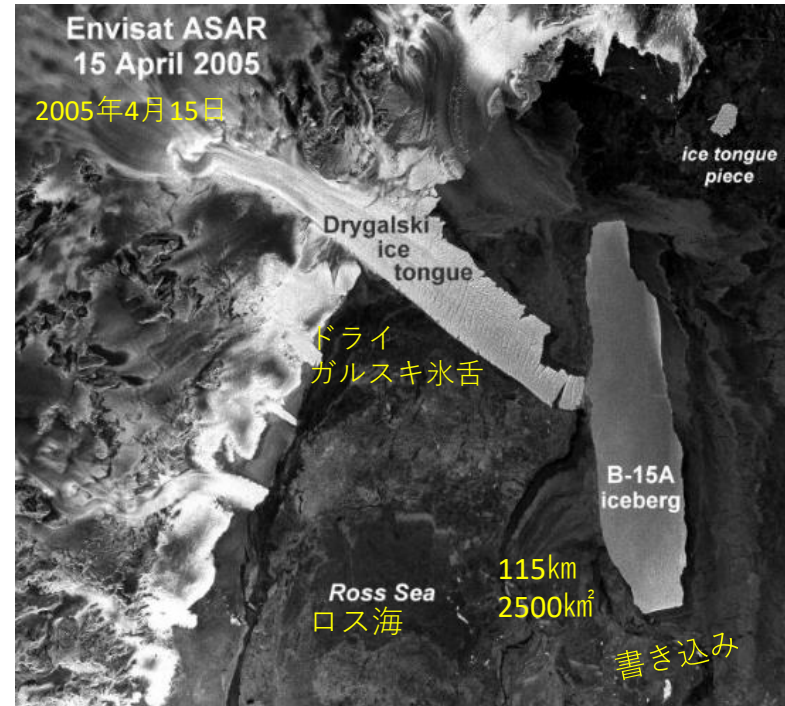
専門家の解説を意識します。

南極大陸の地図は修正する必要があります。広大なB-15A氷山と陸上のドライガルスキ氷舌との間に衝突が起こった。右のEnvisatレーダー画像は、南極の地図帳に登場するのに十分な大きさで恒久的な氷の舌が最悪の状態になったことを示しています。

2005年4月15日にEnvisatが入手した画像は、ドライガルスキの海辺の端にある長さ5キロメートルの部分が、漂流中のB-15Aとの衝突後にこわれたことを示しています。氷山自体は今のところ影響を受けていないようです。氷山の半分以上が氷の浮遊棧橋を片付けるためにまだあるので、ドライガルスキは今後数日でより多くの被害を受けるかもしれません。以下 略

A-76氷山と同じように、ドライガルスキ氷舌の観測にも電波で観測することは極めて有用なようです。

Envisat エンヴィサット ESA
空間分解能1040 × 1200m (海洋)
2002年3月1日～2012年4月8日
合成開口レーダー等 (電波衛星)



「スウェイツ氷河」問題を考えるために、3回ほど「南極の氷」を検討しました。続きは南極観測船「しらせ」が、昭和基地にむけて出港する頃取り上げます。